



南あわじ市

議会だより

第92号

令和8年10月31日発行



未来の南あわじ市、
私たちがつくる



南あわじ市議会
ホームページ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

みんなが安心して使える 大きな公園を

よねだ か のん
米田 奏音 議員(辰美小)

校区内に、誰もが一緒に遊べ、夜間も安全で、バリアフリーに対応し、避難場所となる公園をつくってほしい。多くの人が集まることで地域の絆が深まり、地域全体の安心にもつながる。

【答弁】蛭子議員



議場に響く、 まちを変える若い力

安全安心に過ごせるよう 体育館にエアコンを

で ぐち そうすけ
出口 湊介 議員(八木小)

夏の体育館はとても暑く、熱中症の危険がある。エアコン設置には多額の費用がかかるが、災害時には子どもや地域の人たちの避難所として、安全安心に使用できる。

【答弁】大江議員



ポイ捨てを減らし 美しい南あわじ市に

ふじわら せ な
藤原 晟永 議員(賀集小)

学校の周りでよくポイ捨てを見かける。ごみ箱の設置を増やし、投票ごみ箱を導入することでポイ捨てを減らし、みんなで美しい南あわじ市を守っていききたい。

【答弁】久米議員



みんなが楽しめる 大型レジャープールの建設を

みやの なつ き
宮野 夏輝 議員(倭文小)

流れるプールやウォータースライダーがあるプールを作ってほしい。監視員の配置や送迎バスの運行を行い、子どもたちが安全で安心して楽しい夏を過ごせるまちにしてほしい。

【答弁】原議員



みんなが安全安心で 暮らせる市に

おか べ せい な
岡部 世奈 議員(榎列小)

ひび割れや街灯の少ない道路の通行は、危険だ。中学生になると自転車通学になる。部活動などで帰りが遅くなった時、安心して帰れない。道路の安全面と防犯面の強化をしてほしい。

【答弁】印部議員



松帆地区に公園を 大型商業施設の誘致を

きたもと しゅうき
北本 周暉 議員(松帆小)

交通公園は整備されていないので、新しい公園を作るか、安全に遊ぶようにしてほしい。耕作放棄地を公園にしてはどうか。また、島外に行かなくてもすむよう大型商業施設の誘致をしてほしい。

【答弁】山野議員



沼島のヘリポートに 緊急物資の備蓄を

よしおか はっさく
吉岡 八朔 議員(沼島小)

カムチャツカ沖地震で津波注意報が出たとき、ヘリポートに避難した児童は、状況がわからず不安だったと話していた。誰もが安心して避難でき、大切な命を守るようにしてほしい。

【答弁】山口議員



子ども議員たちが
「わたしたちがつくる
これからの南あわじ市」
について発言し、市議会議員が
答弁を行いました。



豊かな心を育むために 移動図書館を

ひさ い はる
久井 陽 議員(神代小)

移動図書館があれば、子どもや妊婦さん、運転できない人など、みんなが本を借りられる。学校図書室にない本と出会え、移動図書館に人が集まることで新たな交流が生まれる。

【答弁】熊田議員



笑顔が続く 公園を目指して

なか の はる と
中野 陽翔 議員(市小)

市コミュニティパークをもっと安全で気持ちよく使うために、看板やポスターで公園のルールとマナーを伝えたい。学校だけでなく地域でも声かけと見守りを協力していただきたい。

【答弁】齋藤議員



歩けばつながる 南あわじ市観光ツアーを

ふじ い り ら
藤井 璃来 議員(北阿万小)

地域の人や観光客と一緒に歩くことで、地域や魅力を伝えられ、つながりが深まる。この活動を広げるキャラクターも作ったので、より多くの人に伝えられると思う。

【答弁】道中議員



体育館を安全で快適に するためにエアコンを

おか だ な ゆ
岡田 菜結 議員(広田小)

体育館にエアコンを付けてほしい。暑すぎて、私も体調が悪くなり、救急車で運ばれた友達もいる。設置には多額の費用がかかるが、命の方が大切。社会体育や避難者にも役に立つ。

【答弁】吉田議員



ポイ捨てのない 美しい南あわじ市へ

ふなもと さ よ
船本 紗世 議員(志知小)

南あわじ市には「ポイ捨てをなくす南あわじ市美しい島づくり条例」がある。市民一人ひとりにこの条例を知ってもらい、ポイ捨てをしない、美しい南あわじ市をつくりたい。

【答弁】蔭山議員



まちの環境と防災の 見直しを

くぼ た あおい
窪田 碧生 議員(福良小)

小さい頃にあった公園や駄菓子屋さんが減っている。子どもが楽しく元気に遊べる施設を運営する企業に来てほしい。また、通学路の安全のために、台風や大地震に耐えられる瓦屋根にしてほしい。

【答弁】廣内議員



今ある魅力を活かした まちづくり作戦

しん い こう た
新居 宏太 議員(湊小)

これからの南あわじ市について「今ある豊かな魅力を活かすことこそが、まちを元気にする」と考える。例えば、浜辺のゴミを磨いてアクセサリーにするなど、自分の手で価値ある「宝物」に変えていく。

【答弁】北条議員



子ども食堂が もっと増えればいいな

きしかみ さ ら
岸上 菜笑 議員(阿万小)

子ども食堂には地域の魅力が詰まっている。阿万にはできたが、他ではどうだろうか。ここでは他の学年や地域の方々と交流ができる。また、親の負担が減り、家族の会話が増えた気がする。

【答弁】三澤議員



令和7年度決算審査

開催期間 9月10、11、14、15日

委員長：仲野 加枝 副委員長：吉田 良子 委員：議長と監査委員を除く全議員

議会は決算審査特別委員会を立ち上げ、その審査に臨みました。

審査において出された主な **提言** をピックアップしてお知らせします。

一般会計

令和7年度一般会計の決算額は

歳入 **350億944万円**、歳出 **338億5,914万円**

福祉

社会参加から人手不足解消へ

高齢者等元気活躍推進事業 **696万8,000円**

高齢者等元気活躍推進事業

高齢者だけでなく、障がいや病気で長時間勤務が難しい人も社会参加できる仕組みへ拡大し、事業者の認識を高齢者から社会全体へ広げていくことを目指している。

提言 引き続き高齢者等の力を地域の人手不足解消に活かすとともに、就労成立者数を増やすための課題を検証し、今後に向けて取り組んでいただきたい。



▲高齢者等元気活躍推進事業での取組 介護施設の送迎

健康

妊婦健診助成券の金額内訳の改善を
妊婦健康診査費補助金 **1,342万9,000円**

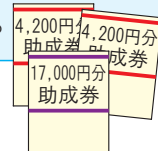
妊婦健康診査費の助成券

健診回数14回分に対応した助成券14枚を交付している。助成額は最大98,000円となっている。

提言 助成券の金額については、淡路医療センターでの健診費用を基準に、費用負担が生じないよう配慮されている。

しかし、島外の病院で出産予定の妊婦には交通費補助がある一方で、健診費用に差異が生じ、自己負担が発生しているケースもある。

また、助成券の券種と金額が複雑で取扱いが難しいため、助成券も含め助成金額の改善策を検討していただきたい。



観光

地域の活性化へ

大鳴門橋周辺環境整備事業 **10億6,263万7,000円**

現状

道の駅うずしおが令和7年10月リニューアルオープンし、来訪者が増加傾向であるが、オーバーツーリズム対策への取組により、地域住民への影響は緩和されている。

今後

自転車道開通後の利用者増加を想定し、駐車場や公共交通体系など観光客の受け入れ態勢を整備する。

提言 自転車道開通後の利用状況、周辺地域への交流人口の増加や観光消費など、経済効果について指標を用いて検証し、地域の活性化につなげていただきたい。

防災

非常時に誰もが命を守るために

災害対策事業 **3,678万2,000円**

個別避難計画

地域や福祉専門職等と連携し、一人暮らしの高齢者や障がい者などの避難行動をあらかじめ個別に定めた計画。

提言 個別避難計画の策定には、支援する側とされる側の双方の理解を深めることが重要であり、引き続き、地域や自治会で説明を行いながら理解を得て、進めていく必要がある。

一人ひとりが災害時に支援を受ける力と助け合いのつながりを持ち続けられるよう、今後も地域での学習会を継続していただきたい。

教育

南あわじ市の文化芸術を未来に残すために

文化芸術保存事業 **102万3,000円**

文化芸術保存団体

だんじり唄保存会、阿万風流踊保存会、福井子ども会人形浄瑠璃部など。

提言 市内11の団体が助成を受けて、文化祭等での公演や記録映像の発信、小学校等での伝承活動が行われているが、いずれも後継者不足が深刻な課題となっている。今後においては団体の情報発信や体験事業の展開をより一層進めていただきたい。



▲阿万風流踊保存会

誰もが学ぶ楽しさを実感し、
まちで役割を持つために

学ぶ楽しさ支援センター* 管理運営事業 **3,006万1,000円**

第三の居場所「島のゆくりば」

様々な課題を抱える高校卒業までの子どもたちの不登校支援の居場所。

方針

福祉課や地域と連携しながら、全ての子どもたちのひきこもり防止支援にもつなげていきたい。

提言 全ての子どもたちが、将来社会参加できる環境を整えることは重要であるため、生涯にわたる切れ目のない支援のさらなる発展に取り組んでいただきたい。

*学ぶ楽しさ支援センターでは、教員の自主研究支援や防災教育の拠点としても機能している。

討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

高齢者補聴器購入補助金が介護保険料に跳ね返ることなく、一般会計で対応すべきである。

また、補助金の増額、対象年齢の引き下げ、公営住宅の建設促進、学校給食の無償化、教材費の保護者負担軽減などの施策が不十分である。

賛成 原 拓生 議員

討論要旨

人口減少や物価高騰など厳しい状況が続く中、市民生活を支える行政サービスを維持しながら、将来に向けた取組を進めてきた点については評価できる。

また、財政面においても、経常収支比率や実質公債費比率の改善、繰上償還などの取組が行われている。

認 定

特別会計

令和7年度特別会計の決算額は
歳入**125億3,846万円**、歳出**121億8,451万円**
※下記の金額含む

後期高齢者医療

歳入**10億1,496万円**、歳出**9億8,156万円**

提言 市は負担金として9億7,457万円を兵庫県後期高齢者医療広域連合に納めている。
医療給付自体は広域連合が運営し、市は国保データベースシステムを通じて、広域連合から様々な医療データが提供されている。
データを分析、活用して健康づくりや介護予防に役立てていただきたい。

認定

企業会計

下水道事業

令和7年度の決算額は
収益的収入**22億4,559万円**、支出**21億6,221万円**
資本的収入**26億8,214万円**、支出**34億7,895万円**
企業債残高**242億6,233万円**

提言 市内にある438か所のマンホールポンプ*は、市民からは見えないが重要な設備である。1台の故障が汚水の流れを止める重大な影響を及ぼす。故障後に修理するだけでなく、故障の兆候を早期に発見して設備管理を行い、今後は予防保全に取り組んでいただきたい。

*マンホールポンプとは、自然に水を流すことができない低い場所などの生活排水を汲み上げ、下水処理場や本管へ送り出すためのポンプ設備のこと。

認定

議案や決算書は見られるの？

議案や令和7年度決算書は、市のホームページに掲載しています。
QRコードからご覧ください。



定例会や委員会を見逃しても大丈夫！YouTubeで見られます！

- QRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると視聴できます。

※注意事項

配信されている映像・音声は、南あわじ市議会の公式記録ではありません。
動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



Pick up!

議案のおもな審議について (会期・8月26日～9月28日)

議案第59号 令和8年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,615万円の追加。

ゆとりっく、キュービクルの更新 ▶ゆとりっく施設改修工事費4,000万円の追加

追加理由

キュービクルが老朽化したため、これを取り替える。併せて、変圧器の新たな基準に対応する。

旧倭文中学校、屋内遊び場に向け進む ▶子ども屋内遊び場施設基本設計業務委託料1,600万円の追加

施設概要

旧倭文中学校の校舎を活用し、子どもたちが酷暑でも安心して遊べ、多世代間での交流や地域振興に寄与する施設を目指すもの。

基本設計内容

- ワークショップでの多様な市民の意見を整理し、より良い1つの案にまとめる
- 施設の動線や配置設計などを決める
- 大規模な改修や減築・増築できるかどうか、建築の専門家に判断してもらう
- 完成後の運営経費の試算をする

原案可決



▲旧倭文中学校

議案第63号 介護保険条例の一部を改正する条例制定

医師の負担軽減と 円滑な審査体制の確保へ

介護認定審査会の委員定数の変更

50名から70名に増やす。

理由

現在、市内の開業医12名が2年ごとに交代で委員を務めているが、南あわじ市医師会と協議した結果、今後、交代制をなくし、市内の開業医全員(24名)が委員となる体制に改めることとする。医師1人当たりの審査会への出席回数を減らし、負担軽減を図るため。

また、今後の高齢化に伴う審査件数の増加や医師以外の専門職の委員にも対応するため。

原案可決

令和7年度に実施した審査会は年間91回、審査件数は2,262件ありました。

議案第65号 いじめ問題対策連絡協議会等条例の一部を改正する条例制定

いじめ問題への対応における 専門性の確保と充実を図る

改正内容

弁護士である委員の役割の明確化、報酬の引き上げ、また、専門的な調査対応ができる体制に整える。

いじめの重大事態への対応は

弁護士との連携だけでなく、医師、学識経験者、心理、教育、福祉等の専門的な知識及び経験を有する者を交え、加えて教育委員会が必要と認める場合はさらに専門家を招集し、重大事態の解決に向けて多職種の連携を図る。

原案可決

人事案件〔敬称略〕

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 三 木 秋 穂 任期 令和9年1月1日～令和11年12月31日

議決結果

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名		議決結果
市長	令和7年度	土地開発事業特別会計決算の認定	認定
市長		産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定	認定
市長		国民宿舎事業特別会計決算の認定	認定
市長		広田財産区特別会計決算の認定	認定
市長		福良財産区特別会計決算の認定	認定
市長		北阿万財産区特別会計決算の認定	認定
市長		沼島財産区特別会計決算の認定	認定
市長		下水道事業会計決算の認定	認定
市長	令和8年度一般会計補正予算（第3号）		原案可決
市長	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		原案可決
市長	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定		原案可決
市長	老人憩いの家賀集荘条例を廃止する条例制定		原案可決
市長	介護保険条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	いじめ問題対策連絡協議会等条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定期間の変更（老人憩いの家賀集荘）		原案可決
市長	財産の譲与（老人憩いの家賀集荘）		原案可決
市長	字の区域の変更（倭文長田地区）		原案可決
市長	令和8年度一般会計補正予算（第4号）		原案可決
市長	人権擁護委員候補者の推薦		適任

■賛否の分かれた議案

議長（谷口博文）欠席のため、副議長（阿部守）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議 案 名	議決結果	久米啓右	蔭山順子	吉田良子	大江幸司	蛭子智彦	熊田由貴	山野大祐	三澤加枝	仲野久美子	道中孝次	廣内津子	北条志巧	齋藤勇樹	山口拓生	原部久信	阿部守
市長	令和7年度	一般会計決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長		国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長		後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長		介護保険特別会計決算の認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを読み取ると、さんさんネットで放送した「一般質問」の録画映像をご覧いただけます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



阿万海水浴場のユニバーサル化、ゆーぷる存続を切望する！

誠道クラブ 阿部 守 議員



阿万・慶野松原海水浴場で初めてアンケート実施

問 アンケート結果は。

答 阿万ではトイレの充実、バリアフリー化、売店の充実。慶野松原でも同様である。

問 アンケート結果を踏まえて阿万海水浴場の石段を使ったスロープの図面を作成した。既存コンクリート部分を利用してできると考えるが、どうか。

答 市長も現場で確認している。前向きに検討していきたい。

ゆーぷるの今後について

問 現状確認調査中の結果を、施設のあり方にどうつなげるのか。

答 来年1月頃をめどに取りまとめ、検討の基礎資料とする。

問 今後の方向性は。再開ありきの調査か。

答 再開を前提としていない。今後については幅広く検討し、総合的に判断する。

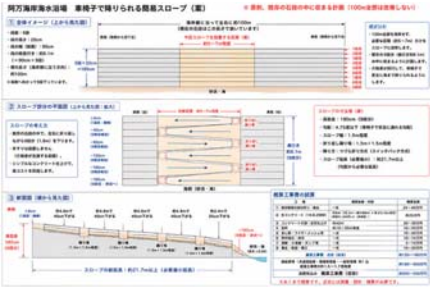
問 地元から残してほしいという声も多い。南淡地域に温浴施設を残すという選択肢は。

答 地域に十分なニーズがあ

るかを見極め、様々な方向から検討する。

問 市長の考えは。

答 地域の皆さんの思いは理解している。できることならこの地域に温浴施設を残す方策を見出したい。地域の期待と将来の財政を考え、その二つを両立できる方策がないか知恵を絞る。



▲阿万海水浴場スロープ設置図案



さくら苑、一人部屋が必要

心和の会 蛭子 智彦 議員



問 養護老人ホームさくら苑の2人部屋のメリット・デメリットは。

答 2人部屋は、入所者同士の助け合いや交流による安心感や生きがいの向上といった利点がある一方で、プライバシーの保護や生活習慣の違いによる課題、施設運営面でも対応が求められるといった難しさがある。

問 1人部屋という選択肢も、今後必要になるのではないのか。むしろそれを進めるべきではないのかと思うが、いか

が。

答 次年度以降の老人福祉計画の策定の中で、養護老人ホームの将来的なあり方も踏まえて、検討を進めていきたい。

民の力を借りて神戸大学(海洋実習施設)跡地の有効活用を

問 神戸大学跡地の利活用について。

答 あらゆる可能性を排除せず、民間事業者等の意見も聞きながら、最適な利活用方法を検討していきたい。

問 全然是っきりしない。市長の腹が決まらんと、こんな

感じがする。3年、4年にかかるのかなと。そこまで待つわけか。

答 腰を落ち着けて考えたい。

問 そんな悠長な話は受け入れられない。

答 地域と、まずは一緒になって考えていきたい。



▲旧神戸大学大学院海事科学研究科海洋実習施設跡地



国籍や文化の違いを認め合い、人権意識あふれるまちづくりへ

誠道クラブ 山口 勇樹 議員



本市の在留外国人の現状について

問 現在の在留人数と主な国籍は。

答 本年7月末時点で本市の住民基本台帳に登録されている外国人住民は968人。上位5か国は、ベトナム社会主義共和国469人、インドネシア共和国126人、フィリピン共和国89人、中華人民共和国74人、ミャンマー連邦共和国53人。

問 産業別の就業人数は。

答 主なもので、農業分野が174人、介護分野で66人、飲食料品製造業分野で32人。

問 今後の受入についての考えは。

答 外国人住民を含め、移住者が地域社会に円滑に溶け込み、安心して生活できる環境を整えることが重要であると認識している。

在留外国人の保育や学びについて

問 就学・就園児の人数は。

答 就園児は8名、児童生徒は5名、合計13名。

問 保育や学びの場における配慮は。

答 市の事業として、日本語サポーターを小学校に1名、

中学校に1名配置。子ども本人や保護者と丁寧に確認しながら、必要な支援を行っている。



▲仕事でも観光でも外国人に選ばれる南あわじ市に



辰美地区の活性化について

誠道クラブ 齋藤 巧 議員



西淡グラウンドについて

問 バックネットの金網、防球ネットが破損している。修理予定はあるのか。

答 老朽化は進んでいるが、すぐに改修することは難しい。市内には多くのスポーツ施設があり、その中で利用時に支障が出る部分から順次対応していきたい。

問 LED化を早期に進められないか。

答 水銀灯はもう製造されていないので、いずれLEDに交換していく必要がある。

市道津井線について

問 6月定例会の際、ガードレールの支柱部分が露出していたが、土を盛り、シートでおおう応急処置が行われた。今後、大雨などによる崩落の心配はないか。

答 安全であると断定することは難しい。大雨により浸透するような状況が見られれば、ブルーシートでおおうなど、緊急的な対応を検討する必要がある。

市道津井伊加利線について

問 辰美地区で数少ない中央

線のある道路約2.4kmの中央線や路側帯の白線が消えている箇所が多い。引き直してもらえないか。

答 区画線の劣化状況、交通量などの通行安全上の必要性を総合的に勘案しながら、緊急性や優先性の高い場所から順次対応していく。



▲西淡グラウンド



全市民が住みよいまちへ

誠道クラブ 原 拓生 議員



青少年とAI

問 生成AIを利用した不正アクセスやサイバー犯罪につながる行為について、児童生徒にどのように教育・指導を行っているのか。

答 著作権やSNS等の身近な題材を教材として、自分の行為が他人の権利を侵害する可能性について学んでいる。児童生徒を被害者にならない教育と併せて、加害者にならない教育という視点からも、今後、国の動向を踏まえながら、指導内容の充実を図っていき

いと考えている。

施設のバリアフリーについて

問 公共施設等の整備・改修を行う際、計画・設計段階において実際に利用する当事者から意見を聞く仕組みはあるのか。

答 基本構想、基本計画、施設設計などそれぞれの段階に応じて、市民や有識者、運営を担う団体など、多様な主体に参加いただき、意見を聞きながら、整備を進めている。

問 本市では心のバリアフリーについて、現在、どのような

取組を行っているのか。

答 当事者団体との意見交換によって、ニーズや課題を把握し、それを踏まえた施策を展開している。



この画像は生成AIで作ったものです。
※実際の公共施設を撮影した写真ではありません。



灘の未来について ～私たちが守るべきもの～

ゆづるはクラブ 道中久美子 議員



灘黒岩水仙郷について

問 落石対策工事の状況と今シーズンの園地開放の見通しは。

答 園地の落石対策工事は令和8年度から9年度にわたって行い、9年度の水仙シーズンには園地が開園できるように工事を進める。

灘の一次産業について

問 びわ・みかんの生産者数の推移は。

答 2010年から16年間で、びわ農家は半減、みかん農家は3分の1程度に減少している。

問 新たな担い手を確保するための取組は。

答 地域主導型就農・定着応援プランを作成し、新たな担い手となる若者などに対して積極的に情報発信を行っている。

灘地域の過疎化と定住策について

問 灘地域の人口の推移は。

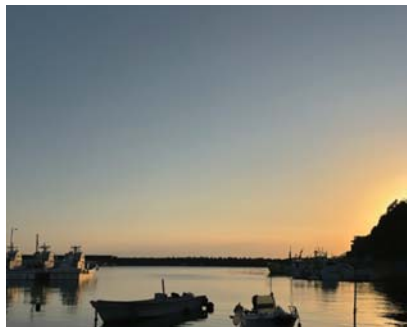
答 平成17年度末の867人から20年後の令和7年度末478人となり、45%減少している。

問 灘地域ならではのお試し移住プログラムを創設できないか。

いか。

答 移住支援事業補助金は、市内の民間賃貸住宅に居住する方を対象としている。宿泊施設など、賃貸住宅以外でお試し移住に活用できる施設がないか、調査研究する必要がある。

他に、子ども議会で提案された観光ツアーなどについて質問した。



▲灘土生港



災害時における市民の安心を目指し、万全の準備を！

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



問 大規模な災害が発生すると、避難所の運営、被害調査、罹災証明の発行など多くの業務をこなさなければならない。このような状況の中で、住民対応を停滞させない体制をつくらなければならない。一番必要となるのが、人的支援計画の整備である。他の自治体からの人的支援を受けるための受援計画は作成しているか。また、いつ見直しをしたのか。

答 受援計画は作成していないが、職員災害対応マニュアルを作成し、「応援に求める業

務」・「執務スペース」・「業務に必要な資機材」など円滑な支援受け入れに必要な事項を定めている。職員災害対応マニュアルの見直し、受援計画についても充実・具体化し、実効性の高いものにしていきたい。

大鳴門橋自転車道の観光資源としての活用方法は

問 市長は大鳴門橋自転車道について、どのような構想を持っているか。

答 自転車道ができると四国とつながる。そうすると、徳

島・香川・愛媛と来て、本州に渡る。これを戻ってくれば500km程度あり、壮大なサイクリングルートができあがる。非常に風光明媚なところなので、世界にも打っていけるように他の県と一緒に取り組めたらと思う。



▲大鳴門橋



子ども議員からの体育館エアコン設置の要望は

日本共産党 吉田 良子 議員



問 設置費用は高いが命の方が大切。授業、避難所としても役立つ。エアコンの必要性をどう受け止めたのか。

答 猛暑の中、厳しい避難所生活では以前よりも高まっていることは理解している。

問 アフタースクールも夏場は暑く、外に出られない。体育館の暑さ対策の声があるが。

答 体育館ではなく、冷房の効いた部屋で読書するなど柔軟に対応している。

問 エアコン設置の予算は。

答 令和7年度淡路市を参考

にすると1校当たり8,000万円程度であると見込んでいる。

問 どのように実施するのか。

答 検討をさらに加速させていく必要があると考えている。

次期介護保険計画の改正は

問 特別養護老人ホームの待機者数は。

答 早期入所が必要な方は、62人。

問 次期介護保険料は、約6億円の基金を活用し引下げしてはどうか。



イングランドの丘、次の一手は？

心和の会 蔭山 順子 議員



観光資源を活かす、イングランドの丘再整備について

問 市として、安全面、利用者の快適性、維持管理の観点から施設ごとの老朽化状況や修繕の必要性をどのように把握しているのか。

答 施設の修繕や改修については、事業費が500万円を超えるものは市が、500万円以下のものについては指定管理者において実施している。また、今年3月に兵庫県が「淡路ファームパークイングランドの丘あり方検討委員会」を

設置し、リニューアルや運営方針も含めて施設の今後について論議されているところである。

問 繁忙期と閑散期の対策は

答 各種イベントを実施するなど年間を通じた集客に努めていきたい。

問 イングランドの丘を整備するなら、美菜恋来屋との一体集約という考えで進めれば、南あわじ市の食と農と観光の拠点として磨き上げるチャンスではないかと考えるが市の考えは。

答 基金は、予防事業等に活用したい。

問 介護人材の確保、処遇改善は。

答 国、県に要望を上げている。

町ぐるみ健診で認知症検診をしてはどうか

答 他の自治体での取組で早期発見、早期対応は意義深いと認識している。導入の予定はない。

答 色々ご指摘いただいた、頑張っていきたいと思う。

らん・らんバスのルート見直しについて

問 現況の吹上町、折り返し運行ルートを四季の丘団地前を通り、塩屋町へ乗り入れるルートに再編できないか。

答 現在調整を進めている。



▲イングランドの丘



低湿地・浸水対策

大志の会 大江 幸司 議員



問 志知地区では、地形的に低い場所があり、大雨の際の排水について、地域から不安の声がある。志知地区の低湿地対策をどのようにされるのか。

答 旧三原町時代は大日川の排水対策として、町から補助金を交付し、地元施工で松美橋上流に排水ポンプを設置した。その後、マルナカ出店の際に地元から強い要望を受け、志知公会堂付近に追加で排水ポンプをマルナカが設置し、排水対策を一層強化してきた

経緯がある。

この新しいポンプの設置により、田口付近の冠水は顕著に軽減された。現在は松美橋付近のポンプの稼働は停止し、新たに設置したポンプの稼働で浸水などの状況は改善されていると聞いている。

問 大雨が降ったときの排水計画を市は持っているのか。

答 過去の浸水状況や地元からの豪雨時における状況の情報についての要望などを踏まえて、現地調査を行い、雨水の流れを把握した上で、個別

の排水対策を検討する。

問 県が管理する河川や堤防などについては、市は県に対してどのような要望や協議を行っているのか。

答 水防などの異常時には、河川について、今どのような状態であるかの情報を常に共有し、水防活動に迅速に対応してもらえるような水防体制を取って対応してもらっている。



▲大日川



サンライズ淡路の今後のあり方と施設環境の改善

躍動の会 山野 由貴 議員



料金改定後の利用状況と施設の維持管理

問 料金改定後の利用状況は。

答 令和8年度4～7月の利用者数は前年度比97.8%。施設全体の売上は109.1%で、全体的に売上げは伸びている状況。

問 施設の修繕計画は。

答 長期的な修繕計画は現在明確になっていない。指定管理者と優先順位を決め、協議しながら適切に修繕を実施していきたい。

問 市と指定管理者と一緒に

施設の将来像をつくる仕組みが必要では。

答 来年度以降に施設の躯体、設備関係の調査を検討。その結果を踏まえ、施設の修繕・更新等を検討する予定。

女性や要配慮者に配慮した避難所運営

問 女性、子ども、高齢者、障がいのある方、発達特性のある方等への配慮は。

答 避難所には、できるだけ女性職員を配置するほか、簡易テントや簡易ベッド、敷マット、生理用品を備蓄している。

問 市内の防災士は何人いて、そのうち女性防災士は何人いるのか。

答 防災士は126名で、男性106名、女性20名。

その他、子ども議会での提案や女性相談支援体制などについて質問した。



▲サンライズ淡路



未来につなげる農業政策について

志 仲野 加枝 議員



問 小規模農家や高齢層農家の離農をいかに防ぎ、次の担い手につなぐかが喫緊の課題ではないか。小規模農家や高齢層農家にどのような支援を行っているか。

答 身体的・体力的な要因については、隙間バイト等の活用に着目している。募集等にスマホ操作が必要となり、研修会などを開催できればと考えている。

農業用機械の共同化や農業支援サービス事業体が農業用機械を導入する場合、市の単

独事業で地域営農効率化支援事業がある。

問 国の農業政策は本市の農業形態にそぐわず、小規模農家は支援を受けられていない。本市の農業経営体に合った支援は、市が独自に研究してやっていくべきだと考える。

南あわじ市における歳入の確保について

問 兵庫県が起債許可団体に移行したが、本市の財政への影響は。

答 県は、財政健全化に向けた投資的経費を最低10%削減

すると公表している。今後も県単独事業の削減や適正化計画が長期的に及ぶ点から、南あわじ市の財政への影響はありと考えられるので県の動向を注視していく。

問 必要な事業や予算が停滞しないよう、国や県に積極的に働きかけ迅速な情報収集を行うよう要望する。



資源循環産業体系マスタープランの見直しについて

心和の会 久米 啓右 議員



問 マスタープランでは、1施設での検討となっているが分散化の検討は？

答 分散化は検討していない。

問 マスタープランは【集中型】で、私の案は3か所【分散型】。【集中型】は「堆肥と肥料」の製造で【分散型】は「堆肥のみ」の製造。【集中型】は「玉葱残渣」「下水汚泥」「食品残渣」を投入し、【分散型】は「玉葱残渣」「食品残渣」だけ。イニシャルコストは【集中型】が22.4億円、【分散型】は「6億円から9億円」。年間のランニングコスト

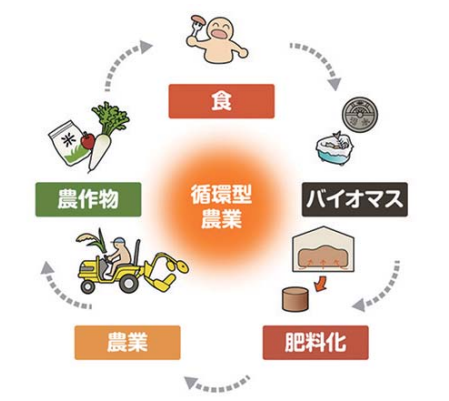
は【集中型】は9,420万円で、【分散型】は5,500万円。結果、肥料の製造を諦め、下水汚泥の投入をやめれば【分散型】が非常に有利。マスタープランは、過剰投資である。

答 下水汚泥を投入することで資金の市内循環になる。数年かけ長く時間かけており、おおむねはマスタープランの方向性である。

問 それでは市民の理解を得られない。マスタープランを基礎に、分散化の場合、下水道汚泥を投入しない場合、肥

料化しない場合とか、いろいろな選択肢の検討を明示していただきたい。

答 外部にきちっと説明できるものが必要かなと思う。





道路整備について

絆 廣内 孝次 議員



問 掃守橋の架け替え工事は。

答 県より今年度は既設歩道橋の撤去、当該箇所の橋梁下部工に着手していくと聞いている。

問 成相川の橋ができてからの古長田線の将来構想は。

答 おのころ島神社付近からイングラウンドの丘までの2車線道路は、東西に結ぶ流れを促進させる効果がある。大榎列古津路線と榎列小学校前の交差点改良や道路線形の改善を行う道路改良工事を検討していたが、同意が得られなかつ

た。30年来の懸案でもあり、引き続き検討はしていきたい。

問 おのころ橋の欄干の塗装の塗り替えは。

答 安全が優先順位になる。地元の方の有志で塗装をされるというのであれば応援はできる。

問 市のイメージの低下につながる。早急に補修を要望する。

おのころ橋の南側に高さ15mぐらいの雑木が川の堰堤に生い茂っている。土手の反対側のり面も同様である。伐採は。

答 シルバー人材センターで除草作業等々行っている。道路への張り出しが基本になる。

渦潮の世界遺産登録について

問 今年の3海峡クリーンアップ大作戦は。

答 11月7日(土) 10時より開催される予定である。



▲県道 66 号線 掃守橋の現状



暮らしの「便利」とまちを守る「絆」～インフラ整備と消防団のこれから～

誠道クラブ 三澤 大祐 議員



道路整備・通学路除草

問 旧町時代の拡幅工事など途中で止まっている路線はあるのか。

答 特に中止となったと認識をしている路線はない。現在事業が行なわれているところは、市道背道線の1か所のみである。

問 通学路の除草頻度を上げることが検討できるか。

答 道路の延長が長く、マンパワーや予算的な制約もあるため、できる限りの対応で、ぎりぎりのところでやってい

るのが現状である。

地域消防

問 20歳代消防団員が大きく減少する中、若者に参画してもらうための取組や現状は。

答 20歳代は合併当初の約35%から約8%まで減少した。少子高齢化や人口減少、流出に加え、地域コミュニティの希薄化が原因と考えている。資格取得制度や消防団員応援事業所の登録を進めており、窓口への来庁時に加入促進を促せないか考えていきたい。

問 練習が負担との声もある。

ポンプ操法についての考えは。

答 基礎技術を習得する訓練である一方、負担という声もある。輪番制で大会に出場するなど負担軽減を図る地域もあり、顔の見える関係を構築して災害対応に当たれるよう、活動しやすい環境づくりを協議していきたい。



安心の環境で豊かな大地の農業支援を

絆 北条志津子 議員



問 低地帯の地域と箇所は。

答 松帆、阿那賀地区他。県道、市道で19か所。

問 大雨やゲリラ豪雨による地域内浸水、排水対策の取組は。

答 側溝の断面の拡大、排水ポンプ設置など。

問 用水路の管理、改修状況は。

答 多面的機能支払交付金、市の単独土地改良事業補助金活用。令和7年度は全19件のうち5件は水路改修を行っている。

問 二級河川三原川水系は河川整備計画に基づき、治水安

全度を向上させ地域の安全・安心を確保となっているが、状況と計画は。

答 基本、河川整備は下流から改修を進める。三原川に流れる主要支川の大日川、倭文川の改修完了後、馬乗捨川、山路川、長田川、成相川の改修計画である。

問 労働力、後継者不足への農業支援は。

答 労働力支援は、省力化と生産性の向上、農業支援サービス事業体等の育成と活用、短期雇用の確保、労働力マッ

チング。

後継者支援は、雇用就農者の確保、新規就農者の確保と育成、スムーズな第三者継承の推進。人と農地をつなぐ取組を推し進め経営安定化を。

他に子ども議会、情報発信拠点施設、交通手段について質問した。



▲実りの収穫、力強く進むトラクター



下水道事業について

誠道クラブ 印部 久信 議員



問 下水道事業を進めるに当たっての経緯は。

答 県が「生活排水対策 99%大作戦」という今後の公共用水域の水質保全や生活環境の改善を進めたのが始まり。

問 下水道の進捗状況と接続率は。

答 整備率は94.2%（公共下水道93.8%、農業集落・漁業集落100%）、接続率73.1%（公共下水道71.5%、農業集落81.4%、漁業集落89.9%）。

問 下水道事業に投じた総額と財源内訳は。

答 総事業費約850億円。内訳は国庫補助金・県補助金312.3億円、企業債458.5億円、受益者負担金・分担金23.7億円、その他54.8億円。

問 下水道工事の面工事や接続工事の急激な単価上昇を把握しているか。

答 公共労務単価（普通作業員）は平成17年3月と令和8年3月を比較すると1.8倍。国土交通省が出している建設工事費デフレーターによると、下水道工事費は平成17年度と令和7年度を比べると1.44倍に

なっている。

問 宅内工事費と下水道接続に対する補助は。

答 接続費に対する直接的な制度はないが、供用開始後3年以内の接続者に早期接続者奨励金を交付している。

問 今後の維持管理と老朽化対策にどれくらいの費用を見込んでいるのか。

答 令和7年から令和16年の投資計画によると維持管理には年1.7億円程度、老朽化対策には年平均3億円程度になる。



おもな審議について（会期：7月30日～8月6日）

議案第57号
（仮）成相川橋橋梁下部工事（3期）請負契約の締結

入谷緑化土木㈱と2億3,562万円で契約

進捗状況

3期工事が終了すると約半分の進捗となる。

耐震強度は十分なのか

今後想定される最大級の強い揺れでも耐えられるようにしている。

原案可決



議決結果

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	令和8年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決
市長	（仮）成相川橋橋梁下部工事（3期）請負契約の締結	原案可決
市長	訴えの提起	原案可決

一部事務組合などの議会報告

兵庫県後期高齢者医療広域連合

▼第2回定例会＜8月5日＞

令和7年度一般会計、特別会計決算を認定。

令和8年度一般会計補正予算（第1号）などを可決。

副広域連合長に大林賢一氏（養父市長）を選任に同意。

淡路広域水道企業団

▼第3回定例会＜9月2日＞

令和7年度水道事業会計決算を認定。

職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定、令和8年度水道事業会計補正予算（第1号）などを可決。

議長に先田正一議員（洲本市）を選任。

監査委員に近藤昭文議員（洲本市）の選任に同意。

阿部守議員ほか3名が一般質問を行った。

淡路広域行政事務組合

▼第3回定例会＜9月2日＞

令和7年度歳入歳出決算を認定。

議長に谷口博文議員を選任。

監査委員に吉田良子議員、淡路公平委員会委員に奥田恵子氏（淡路市）の選任に同意。

阿部守議員、吉田良子議員ほか2名が一般質問を行った。

淡路広域消防事務組合

▼第3回定例会＜9月2日＞

令和7年度一般会計歳入歳出決算を認定。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定、財産取得などを可決。

議長に田尾成議員（淡路市）、副議長に阿部守議員を選任。

監査委員に西村秀一議員（淡路市）の選任に同意。

阿部守議員、吉田良子議員が一般質問を行った。

令和8年度 議員研修会(8月17日)

「議会におけるハラスメント防止と信頼される議会づくり」

社会保険労務士の白石多津子氏を招き、研修を行いました。大切なのは、「自分はどのようなつもりだったのか」ではなく、相手がどう受け止め、どのような影響を受けたかを見ることがだと教わりました。



議会報告会 まもなく開催！！

日時	11月9日(月) 午後7時～午後8時30分 ※荒天の場合中止
場所	南あわじ市保健センター (広田地区公民館となり)
内容	議会活動の報告 グループワークでの意見交換
定員	先着42名 (定員を超えた場合、傍聴となります)
申込方法	右の申込フォーム、電話



事前申込みは
こちらの申込
フォームから→



★一時保育の利用希望者は、11月2日までに
お申し込みください。

申込・お問い合わせ先
議会事務局 TEL 43-5005

第143回 南あわじ市議会定例会日程（12月）

◆開会はすべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）		会議日	会議内容（予定）
第1日	11月20日(金)	1. 委員会調査報告 2. 役員改選、議席変更	予備日	12月8日(火)	
第2日	11月25日(水)	1. 条例案上程 2. 令和8年度補正予算案上程 3. その他の案件上程	第6日	12月16日(水)	1. 付託案件委員会審査報告、表決 2. 追加議案上程、表決
第3日	12月2日(水)	1. 一般質問	委員会	12月9日(水)	総務文教常任委員会 (付託案件の審査)
第4日	12月3日(木)	1. 一般質問		12月10日(木)	産業厚生常任委員会 (付託案件の審査)
第5日	12月7日(月)	1. 一般質問 2. 追加議案上程			

議会を傍聴しませんか？
だれでも自由に、見たり、聴いたりできるんです

セライナとの国際交流で インタビュー!

(7月19日30周年記念祝賀会にて)

昨夏、オハイオ州セライナ市を訪問された
学生たちに、印象に残ったことや経験談など
を聞きました。



両市は強い絆で
結ばれていると感じた。
今後もずっと
強固な関係が続くと
確信している。
(セライナ市
ヘーゼル市長)

お話しする中で、
交流の楽しさが
わかった。(坂本さん)

考えなくても英語で話せるよう
になった。(濱崎さん)

自分から
コミュニケーション
が取れるように
なった。(前田さん)

度胸がついた!
日本食を作って、日本
の食事マナーを教えた。
(眞野さん)

キリスト教会に行ったことが
印象的だった。(久留米さん)

誕生日だったのでケーキを
作ってくれた。バースデーソング
も歌ってくれ、感激した。
(柏木さん)

全然英語ができな
かったけど、身振
り手振りで伝える
ことができた。
(仲野さん)

不安もあった
けど、大人数で一緒
に遊んだりして、意
外と大丈夫だった。
(辛川さん)

セライナでも花火が
見られて、楽しかった。
(船瀬さん)

最初、堅苦しかったけど、
わかり合おうとしたら気持
ちが通じた。(廣内さん)

ホストマザーの作った
朝食など、食べ物が
美味しかった。(小濱さん)

編集後記

子ども議会の特集はいかがでしたか。自分たちの言葉で堂々と意見を発表する
子ども議員の姿は本当にかっこよく、その素敵なアイデアがどのように活かされ
るのか、今後とても楽しみです。

現在の編集メンバーによる「議会だより」は、今号をもちまして最後となりま
す。この1年間、「わかりやすく、伝わる紙面」を目指し、試行錯誤を重ねてきま
した。どうでしたか。次号からは新体制となりますので、今後とも変わらぬご支
援をよろしくお願いいたします。(北条)

議会広報広聴 常任委員会

仲野 加枝
北条 志津子
山野 由貴
道中 久美子
原 拓生
阿部 守

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



環境に配慮した再生紙と
植物油インキで印刷して
あります。

編集／南あわじ市議会広報広聴常任委員会

編集／南あわじ市議会 〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22 番地 1 TEL. 0799-43-5005 FAX. 0799-43-5105
南あわじ市ホームページ <https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp> E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp